

2020年度 第1四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については、「減少」もしくは「やや減少」と回答した企業の割合が全体の8割を超え、急激な悪化が見受けられた。

今後の見通しについては、全ての業種でDIがマイナス値となり、悪化傾向にあった前回調査までと比べて更に厳しい見通しとなり、受注単価についても全体的に若干の悪化が見られた。

資金繰りについても、受注量と同様に悪化した企業の割合が大幅に増加した。

また、採算状況については、過半数の企業が「赤字」と回答し、受注余力についても、8割以上の企業が「受注余力あり」と回答するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は著しく、府内ものづくり中小企業の受注動向は厳しい状況が続いている。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 急激な悪化が見られた。
- (2)受注見通し : 悪化傾向にあった前回調査までと比べて更に厳しい見通し。
- (3)受注単価 : 全体的に若干の悪化が見られた。
- (4)資金繰り : 「悪化」と回答した企業の割合が大幅に増加した。
- (5)採算状況 : 「赤字」と回答した企業が過半数となった。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が86.5%と、前期と比較して5.7ポイントの上昇となった。
(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち32社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

新型コロナウイルス感染症拡大による貿易・投資の縮小や国内外の消費の冷え込み等の影響がほぼ全ての業種で顕著に表れており、その中でも、自動車業界や工作機械業界の部品製造を行う企業では、自動車工場の稼働停止により、2019年度第4四半期と比べて大幅な受注減であるとの回答が見受けられた。

今後についても、第2波第3波の感染拡大の可能性により消費回復の目途が立たないことから、先行きを不安視する意見や、企業の業績悪化による設備投資の減少でさらに受注が落ち込むのではないかとの声が聞かれた。

一方で、以前から低調が続いていた半導体関連部品を製造する一部の企業からは、受注量が増加傾向であるとの回答が散見され、コロナ禍でテレワークや巣ごもり消費、テイクアウト等の新たな需要が生まれたことにより、通信機器・ゲーム機・計量器等に関連する分野で特需的に受注が増える企業も見受けられた。

今後、令和2年7月豪雨の影響やコロナ禍の長期化が懸念されるものの、今回の調査では、リーマンショック時ほどの景況の悪化は見られず、半導体市場の回復や自動車メーカー工場の再稼働等、一部で明るい兆しもあった。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2020年4月～6月

(2020年6月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 254社 (回答率 84.7%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2020年6月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

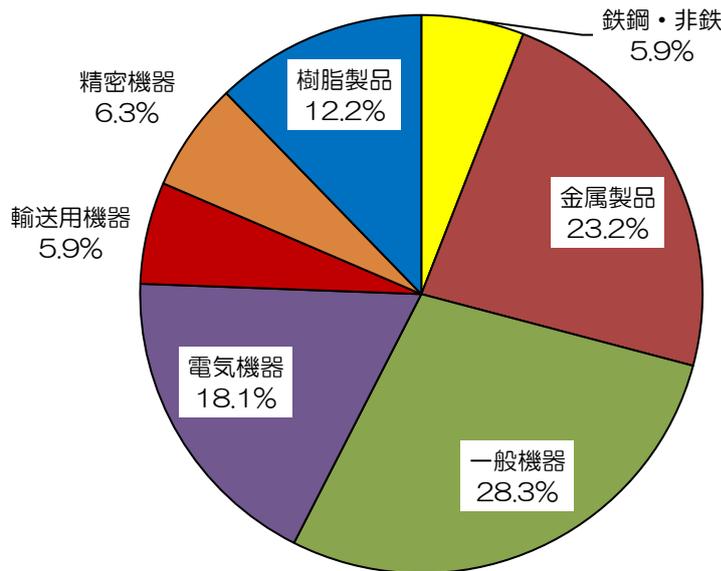
(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	254社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	15社	（ 5.9% ）	
金属製品関係	59社	（ 23.2% ）	
一般機器関係	72社	（ 28.3% ）	
電気機器関係	46社	（ 18.1% ）	
輸送用機器関係	15社	（ 5.9% ）	
精密機器関係	16社	（ 6.3% ）	
樹脂製品関係	31社	（ 12.2% ）	

④ 回答率 84.7% [前回：84.7%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.7%		1 2.2%			3 9.7%
~300万円	18 7.1%		4 6.8%	3 4.2%	4 8.7%	2 13.3%	2 12.5%	3 9.7%
301~999万円	12 4.7%		2 3.4%	6 8.3%	1 2.2%	1 6.7%		2 6.5%
1000~2000万円	143 56.3%	9 60.0%	38 64.4%	42 58.3%	26 56.5%	3 20.0%	9 56.3%	16 51.6%
2001~5000万円	58 22.8%	5 33.3%	13 22.0%	17 23.6%	11 23.9%	3 20.0%	3 18.8%	6 19.4%
5000万円超	18 7.1%	1 6.7%	1 1.7%	4 5.6%	3 6.5%	6 40.0%	2 12.5%	1 3.2%
合 計	254 100%	15 100%	59 100%	72 100%	46 100%	15 100%	16 100%	31 100%

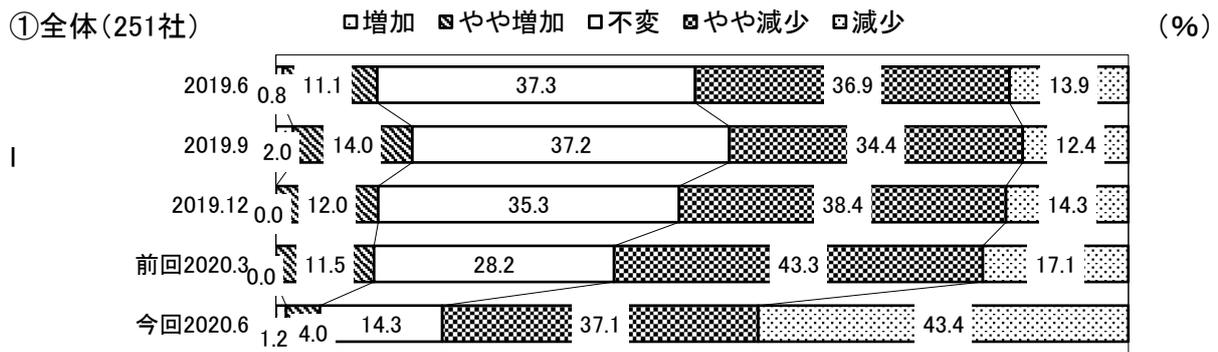
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

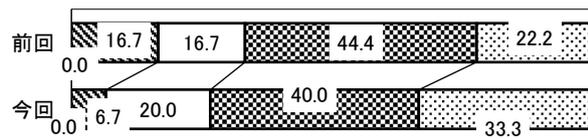
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	18 7.1%	3 20.0%	3 5.1%	5 6.9%	3 6.5%			4 12.9%
6~10人	29 11.4%	2 13.3%	5 8.5%	10 13.9%	3 6.5%	3 20.0%	3 18.8%	3 9.7%
11~20人	70 27.6%	2 13.3%	16 27.1%	25 34.7%	12 26.1%	1 6.7%	4 25.0%	10 32.3%
21~30人	38 15.0%	3 20.0%	14 23.7%	11 15.3%	4 8.7%	1 6.7%	2 12.5%	3 9.7%
31~50人	41 16.1%	3 20.0%	8 13.6%	9 12.5%	11 23.9%	4 26.7%	2 12.5%	4 12.9%
51人以上	58 22.8%	2 13.3%	13 22.0%	12 16.7%	13 28.3%	6 40.0%	5 31.3%	7 22.6%
合 計	254 100%	15 100%	59 100%	72 100%	46 100%	15 100%	16 100%	31 100%

3. 調査結果

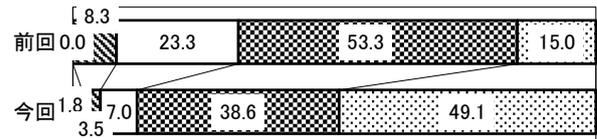
(1) 受注量について



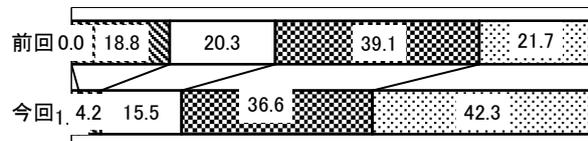
②鉄鋼・非鉄 (15社)



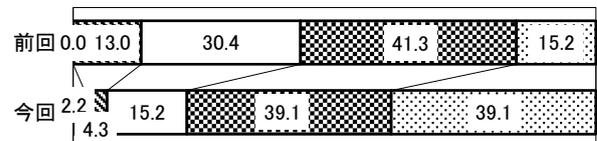
③金属製品 (57社)



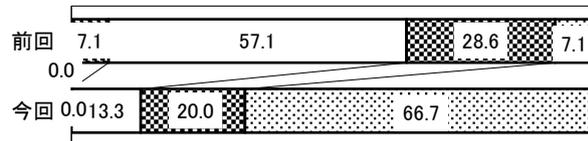
④一般機器 (71社)



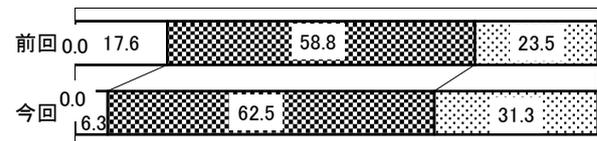
⑤電気機器 (46社)



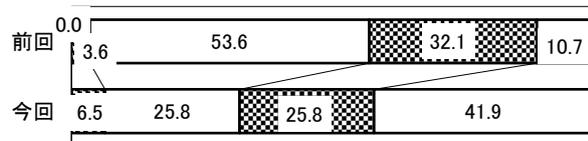
⑥輸送用機器 (15社)



⑦精密機器 (16社)



⑧樹脂製品 (31社)



○全体

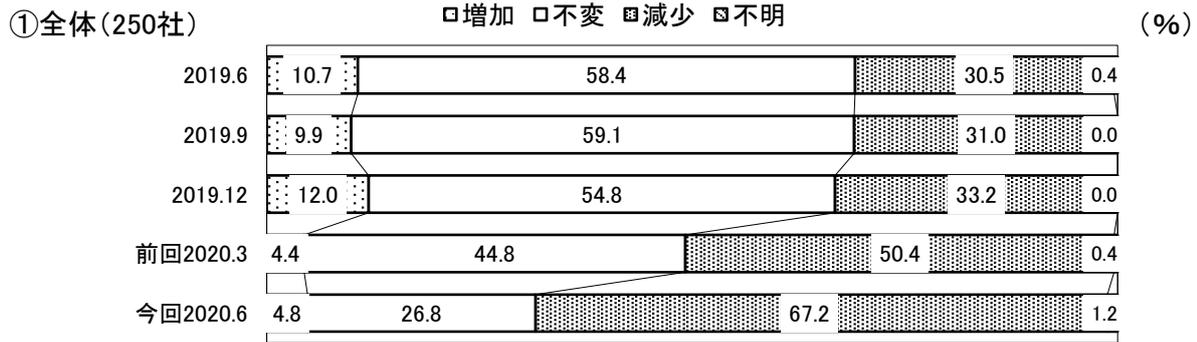
・4月～6月期の受注量の業況判断D I (「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲75.3となり、前期(1月～3月期)のD I値▲48.9と比べ26.4ポイント低下し、前回調査までと比べて急激な悪化が見られた。

○業種別

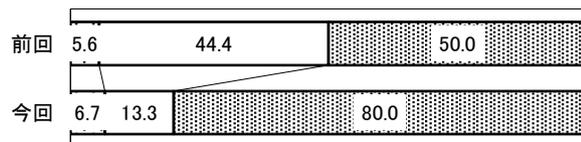
・D I値は、樹脂製品(▲61.2)、鉄鋼・非鉄(▲66.6)、電気機器(▲71.7)、一般機器(▲73.3)、金属製品(▲82.4)、輸送用機器(▲86.7)、精密機器(▲93.8)と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(▲16.7ポイント)、一般機器(▲31.3ポイント)、輸送用機器(▲58.1ポイント)、精密機器(▲11.5ポイント)、樹脂製品(▲22.0ポイント)、金属製品(▲22.4ポイント)、電気機器(▲28.2ポイント)の7業種全てで低下している。

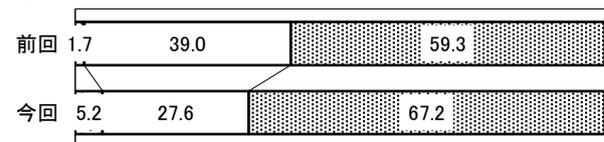
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



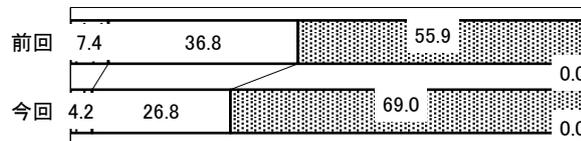
②鉄鋼・非鉄(15社)



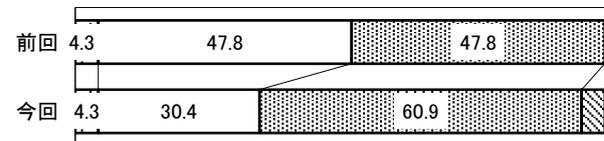
③金属製品(58社)



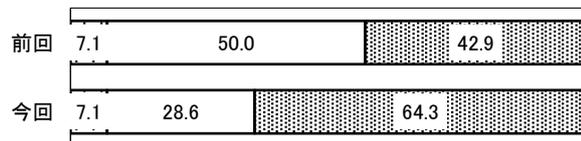
④一般機器(71社)



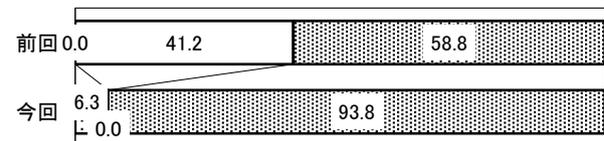
⑤電気機器(46社)



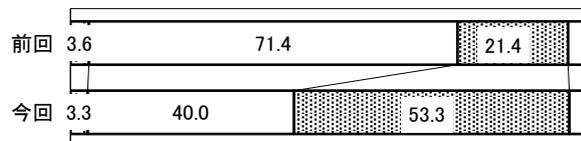
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・次期(7月~9月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲62.4となり、前期(1月~3月期)調査時のD I値▲46.0と比べ16.4ポイント低下し、悪化傾向にあった前回調査までと比べて更に厳しい見通しとなった。

○業種別

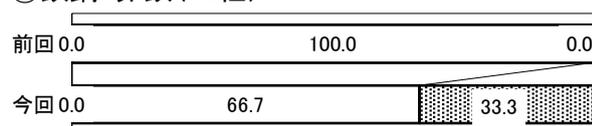
・D I値は、樹脂製品(▲50.0)、電気機器(▲56.6)、輸送用機器(▲57.2)、金属製品(▲62.0)、一般機器(▲64.8)、鉄鋼・非鉄(▲73.3)、精密機器(▲87.5)と、受注量についての調査同様に7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、樹脂製品(▲32.2ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲28.9ポイント)、精密機器(▲28.7ポイント)、輸送用機器(▲21.4ポイント)、一般機器(▲16.3ポイント)、電気機器(▲13.1ポイント)、金属製品(▲4.4ポイント)と7業種全てで低下している。

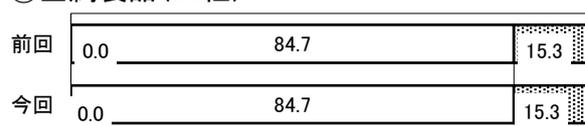
(3) 受注単価について



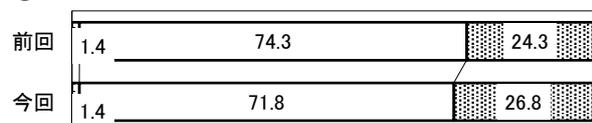
②鉄鋼・非鉄(15社)



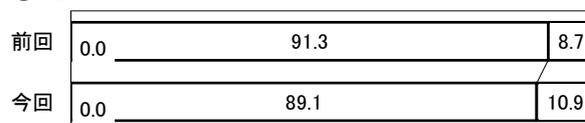
③金属製品(59社)



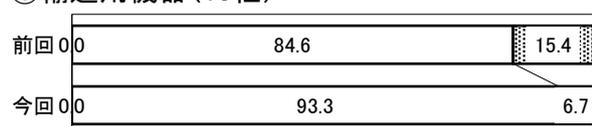
④一般機器(71社)



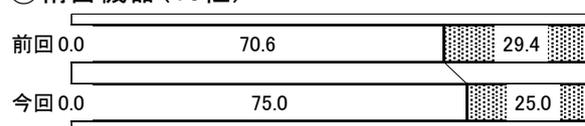
⑤電気機器(46社)



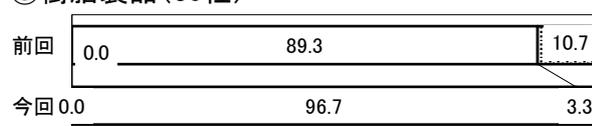
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

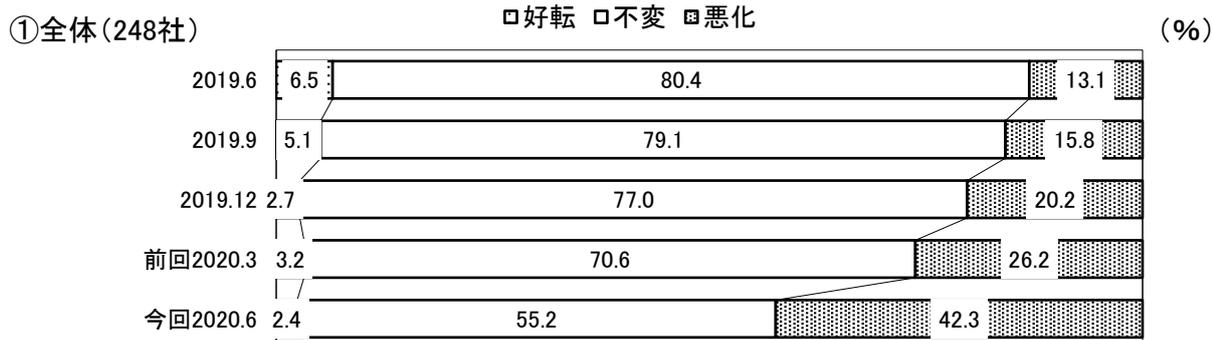
・4月～6月期の受注単価の業況判断D I (「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲17.1となり、前期(1月～3月期)のD I値▲15.5と比べて1.6ポイント低下と、全体的に若干の悪化が見られた。

○業種別

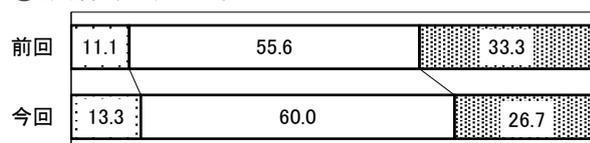
・D I値は、樹脂製品(▲3.3)、輸送用機器(▲6.7)、電気機器(▲10.9)、金属製品(▲15.3)、精密機器(▲25.0)、一般機器(▲25.4)、鉄鋼・非鉄(▲33.3)と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、金属製品のみ前期比±0ポイントとなり、輸送用機器(8.7ポイント)、樹脂製品(7.4ポイント)、精密機器(4.4ポイント)の3業種で上昇。電気機器(▲2.2ポイント)、一般機器(▲2.5ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲33.3ポイント)の3業種で低下した。

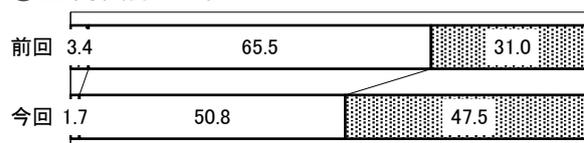
(4) 資金繰りについて



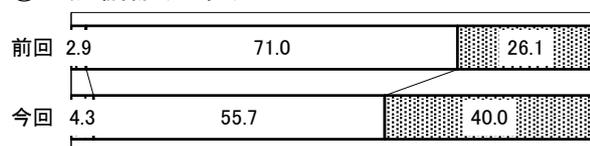
②鉄鋼・非鉄(15社)



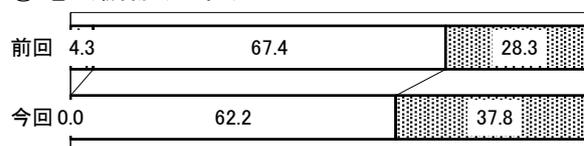
③金属製品(59社)



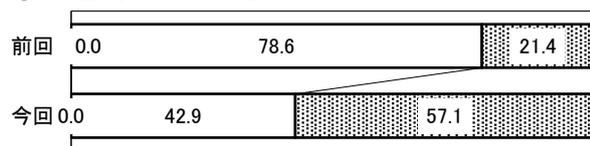
④一般機器(70社)



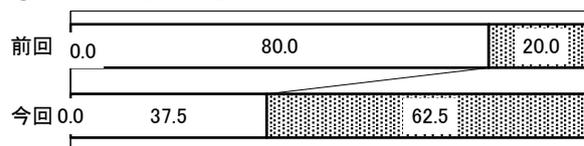
⑤電気機器(45社)



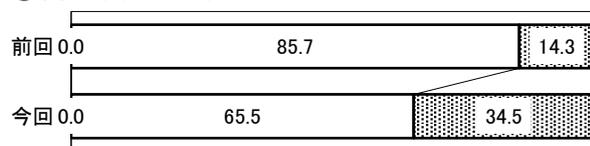
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

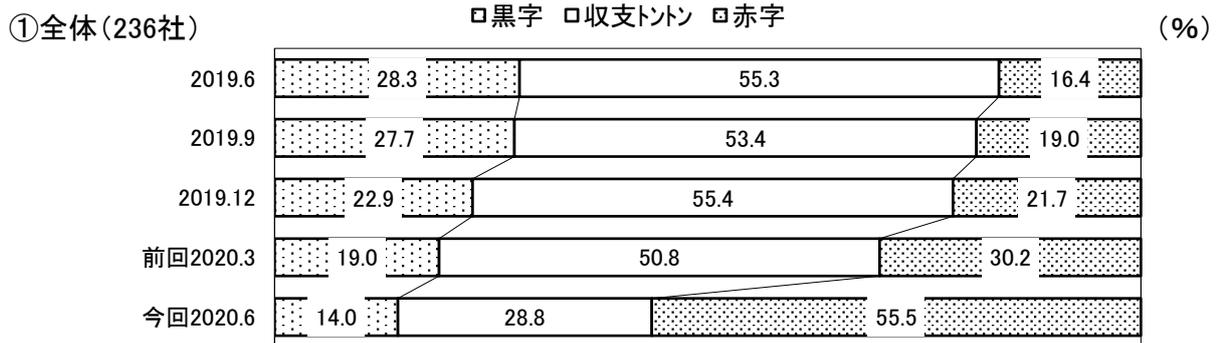
・4月～6月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲39.9となり、前期(1月～3月期)のD I値▲23.0と比べて16.9ポイント低下と、「悪化」と回答した企業の割合が大幅に拡大した。

○業種別

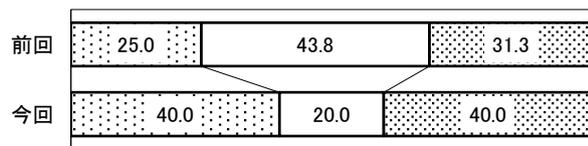
・D I値は、鉄鋼・非鉄(▲13.4)、樹脂製品(▲34.5)、一般機器(▲35.7)、電気機器(▲37.8)、金属製品(▲45.8)、輸送用機器(▲57.1)、精密機器(▲62.5)と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(8.8ポイント)の1業種のみ上昇。一般機器(▲12.5ポイント)、電気機器(▲13.8ポイント)、金属製品(▲18.2ポイント)、樹脂製品(▲20.2ポイント)、輸送用機器(▲35.7ポイント)、精密機器(▲42.5ポイント)の6業種で低下した。

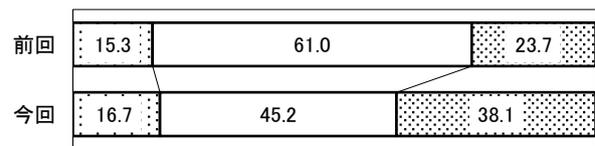
(5) 採算状況について



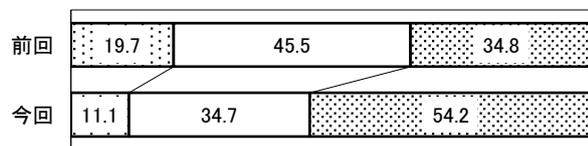
②鉄鋼・非鉄(15社)



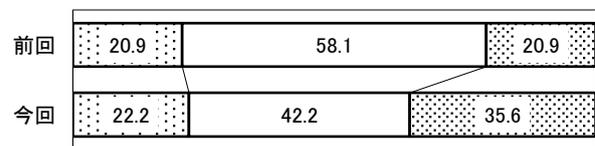
③金属製品(42社)



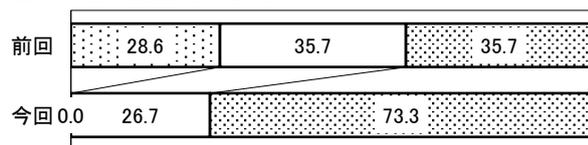
④一般機器(72社)



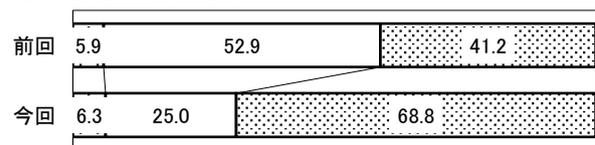
⑤電気機器(45社)



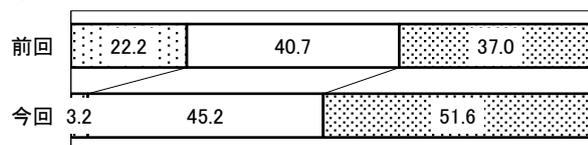
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(31社)



○全体

・4月～6月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲41.5となり、前期（1月～3月期）のD I値 ▲11.2と比べ30.3ポイント低下し、「赤字」と回答した企業が過半数となった。

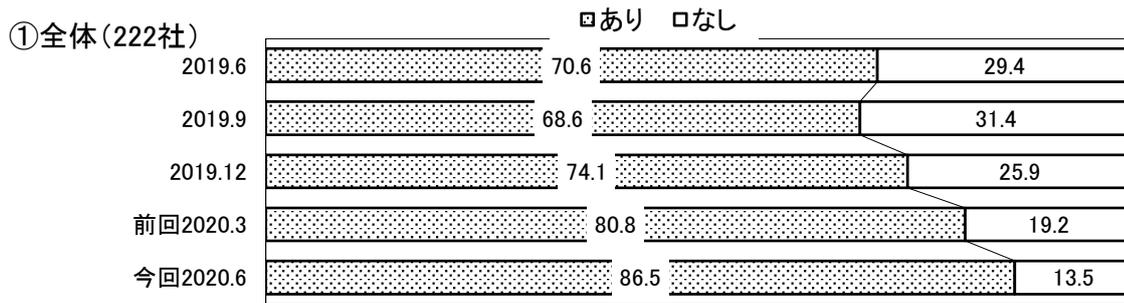
○業種別

・D I値は、「赤字」と「黒字」の回答が同数であった鉄鋼・非鉄のみ±0となり、電気機器（▲13.4）、金属製品（▲21.4）、一般機器（▲43.1）、樹脂製品（▲48.4）、精密機器（▲62.5）、輸送用機器（▲73.3）の6業種でマイナスとなった。

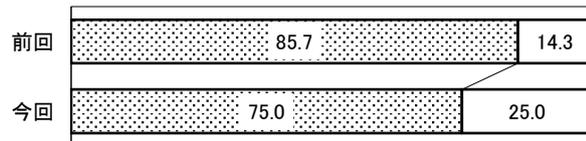
・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（6.3ポイント）の1業種のみ好転。樹脂製品（▲33.6ポイント）、一般機器（▲28.0ポイント）、金属製品（▲13.0ポイント）、輸送用機器（▲66.2ポイント）、精密機器（▲27.2ポイント）、電気機器（▲13.4ポイント）の6業種が悪化傾向となった。

(6) 受注余力について

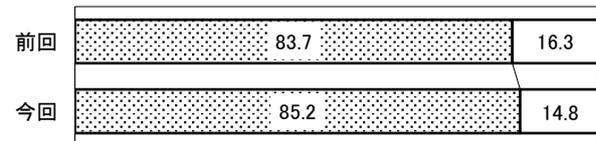
(%)



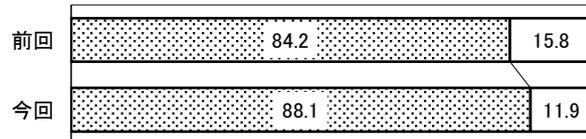
②鉄鋼・非鉄(22社)



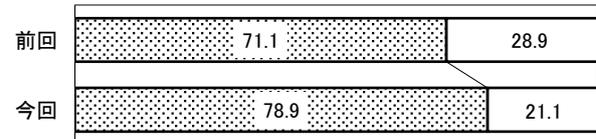
③金属製品(54社)



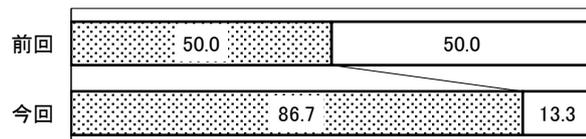
④一般機器(59社)



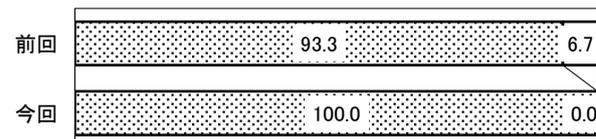
⑤電気機器(38社)



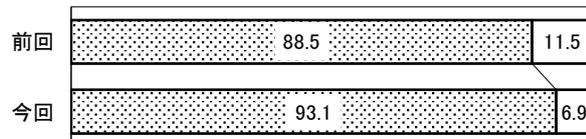
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(15社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

・4月～6月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は73.0となり、前期(1月～3月期)のD I値61.6と比べ11.4ポイント上昇した。

(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

・4月～6月期は「受注余力あり」とする企業が86.5%と、前期と比較して5.7ポイントの上昇となった。

○業種別

・D I値は、鉄鋼・非鉄(50.0)、電気機器(57.8)、金属製品(70.4)、輸送用機器(73.4)、一般機器(76.2)、樹脂製品(86.2)、精密機器(100.0)の7業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前期と比較すると、輸送用機器(73.4ポイント)、電気機器(15.6ポイント)、精密機器(13.4ポイント)、樹脂製品(9.2ポイント)、一般機器(7.8ポイント)、金属製品(3.0ポイント)、の6業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。鉄鋼・非鉄(▲21.4ポイント)の1業種のみ前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp